

研究課題：骨盤骨の異常の検出と原因に対する最適な画像検査方法と検査時期
についての後ろ向き研究

1. 研究の目的：骨盤骨の異常は様々な原因で生じ、その発生時期は病態によって異なります。その異常の検出時期、鑑別診断、経過観察のための最適な検査方法を明らかにします。
2. 研究の概要：骨盤骨の異常はさまざまな病態でなりえます。先天性疾患、感染性疾患、変形性疾患、遺伝性疾患、血管性疾患や成長の過程で生じる正常変異までさまざまなものが含まれます。治療は、早期に介入しなければならないものから、治療を要さないものまで様々です。その異常の検出時期、鑑別診断、経過観察は重要であるが、それについてのまとまった報告は少ないです。診断確定と経過観察のため、単純レントゲン、超音波、MRI、CTが行われますが、それぞれの検査手法による、検査時期と画像所見を検討しまとめます。これによって、異常の検出とその鑑別診断、そして経過観察がより容易になります。
3. 研究の方法
研究期間は2000年9月から2020年1月までに、骨盤骨の検査のために単純レントゲン、超音波検査、CT、MRI検査が行われた患者様を対象とします。検査時期、治療法、画像所見などを後方視的に調べます。
4. 研究期間
2020年4月から2020年9月までの6ヶ月間で、カルテを調べ、結果をまとめます。
5. 研究に用いる資料・情報の種類
骨盤骨の検査のため撮影された患者様の検査時とその後の経過を、画像検査結果、カルテの記載から、病気に関する事柄（検査所見、治療方法）を調べまとめます。
6. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表
この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切わからないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この試験で得られたデータが本試験の目的以外に使用されることはありません。

7. 研究組織

研究分担医師：細川 崇洋

研究施設名：埼玉県立小児医療センター 放射線科

連絡先：330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-2

電話 048-601-2200

8. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年5月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）